

重要

技術科 評価・評定、定期考査について

1年間大切に保管してください

●評価・評定

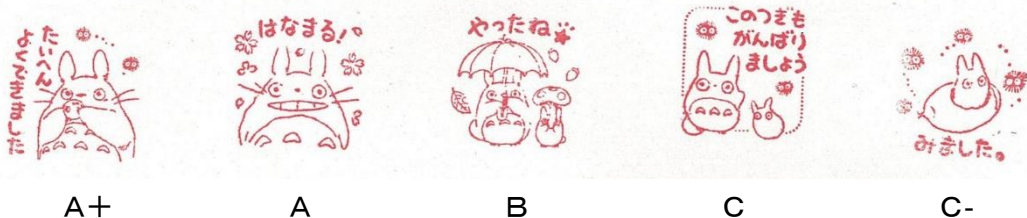
技術・家庭科は、技術分野と家庭科分野を合わせた評価になることに注意してください。

科目	観点	配点	評価	評定
技術・家庭	知識・技能	技術分野(50点)、家庭分野(50点)	A・B・C	5～1
	思考・判断・表現	技術分野(50点)、家庭分野(50点)	A・B・C	
	主体的に学習に取り組む態度	技術分野(50点)、家庭分野(50点)	A・B・C	

技術科で評価するものは、定期考査、作品(提出課題も含む)、レポート、長期休暇中の課題などです。評価規準はその都度説明します。

●提出物の評価

スタンプで表しています。提出物の評価はA・B・Cの3段階ではなく、5段階で評価を提示します。



ファイル提出や、レポート提出などで使用します。

●記述をするときの注意点

作品制作などでレポートを作成する機会があります。「何に対してどう思ったのか」を具体的に記入するようにしてください。

作品レポートの書き方

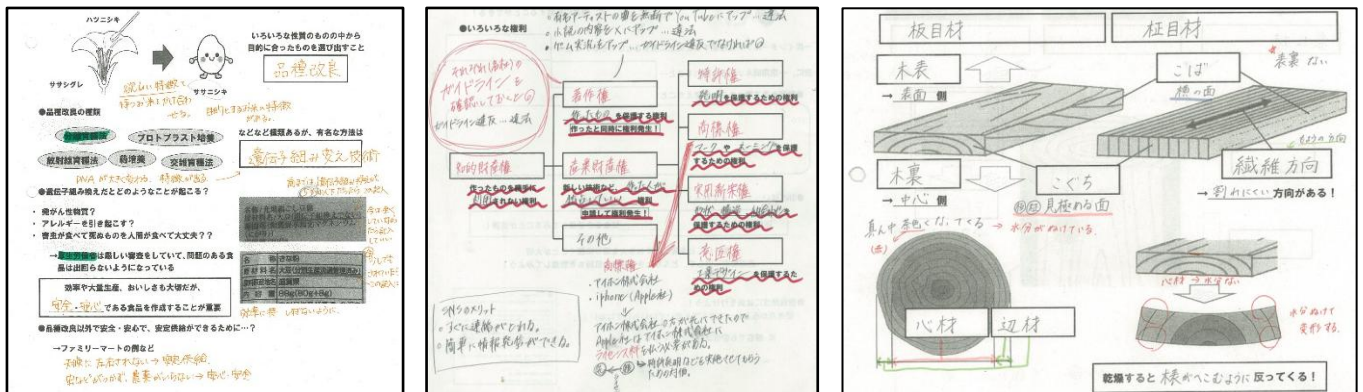
「〇〇を△△のようにすることを工夫した。」「□□がうまくいかなかったが、◇◇をするとやりやすかった。」

他のレポートの書き方

「〇〇を見て、△△の部分が□□だと思い、私は◇◇と考えた。」

など、具体的に書きましょう。

●ノートを取り方(例)



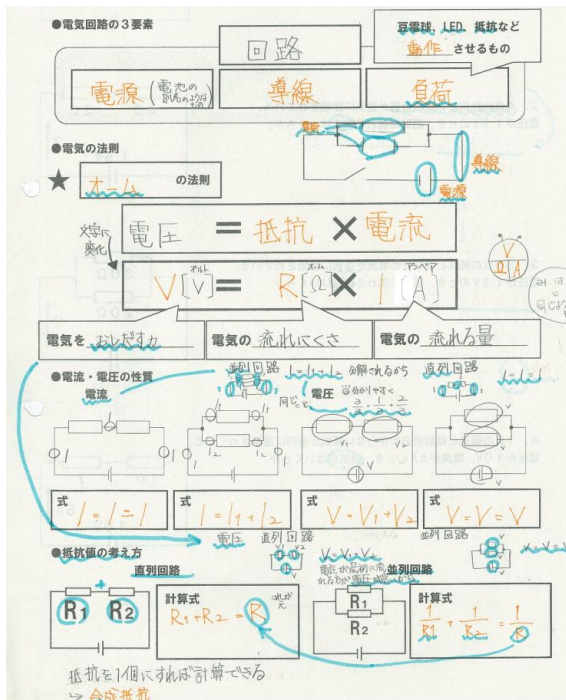
穴を埋めるだけではなく、メモをしっかりと取りましょう。

また、ペンの色を使い分けて、重要なポイントをおさえましょう。

●ファイル提出・評価

定期考査の技術科当日の放課後にファイルを提出してください。技術係はクラスでファイルを回収し、木工室に持ってきてください。

ファイル提出の評価規準



A (80%以上)

- 色を付けて記入している。
- 授業内で説明したことをメモしている。
- わかりやすくまとめている。

左のプリントや表面のプリントは A 評価です。

B (50%以上、80%未満)

- 空欄をすべて記入している。
- テスト範囲のプリントがすべて挟まっている。

C (50%未満)

- 空欄を記入していないところが多い、記入していない。
- テスト範囲のプリントがすべて挟まっていない。

※ 提出物遅れは減点、未提出は0点です。

※ 休んでいてプリントをもらっていない人は、金工室前にプリントを置いてありますので、取ってってください。プリントの番号を確認しましょう。また、金工室前に穴埋めしたプリントを掲示しています。

※ 定期考査前に配布する“テスト対策プリント”は、記入や丸を付ける必要はありません。自主勉強に使用してください。また、授業でも扱いません。

●定期考査

主に授業内で説明したこと・プリントから出題されます。年間に3回。試験時間は40分間で、その時間に技術分野と家庭分野どちらも解答します。技術分野50点満点、家庭分野50点満点、合計100点満点です。

例)

授業プリント



定期考査

(1) 細長い板を繋ぎ合わせて一枚の板にした木材のことを何というか。

→ 集成材

(2) パーティクルボードは、どのようなときに利用されるか。

→ 大きな木材が必要なときに用いられる。

語句とそのものが何なのかを
セットで覚えておきましょう。